

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

洲本市長 上崎 勝規

市町村名 (市町村コード)	洲本市 (28205)
地域名 (地域内農業集落名)	厚浜 (厚浜)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年10月17日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当地域においては、水稻とタマネギや白菜、キャベツなどの露地野菜、一部の農家で畜産を組み合わせた複合経営を行っている。地域内の農地は殆ど基盤整備が完了しており、現時点では耕作放棄田の発生はない。担い手については、今後 10 年間は問題なく耕作できる可能性が高い。一方で家族経営が多く、担い手の労働力には親世代も含まれており、年々体力的にしんどくなっているところも見受けられる。また、地域内の農地は法面が多く、草刈り作業を含めた地域資源の維持管理に労働力が必要であるが、今後は非農家も含めた地域資源の維持管理における実施体制の構築やスマート農業の導入などが課題となっている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

当地域においては、水稻とたまねぎ、白菜、キャベツの作付けを行っている。地域の所得向上に向けて、肥料価格が高騰している中、畜産堆肥の有効活用や機械の共同化、畝立同時施肥機などを導入して低コスト化を地域全体で進めていく。農業従事者については、高齢化が進み、地域内の農地を地区外の農業者が耕作する状況が増えており、農地の集約化が一層難しくなっており、農地の賃貸借のルール作りについても他地域や県内の事例を参考にしながら検討を進めていく。また、中山間地域で獣害被害が発生していることから、地域ぐるみで獣害対策に取り組む。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	16.0 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	15.2 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

中川原町厚浜地区、及び一部中川原町中川原地区

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
担い手が高齢化となっており、規模拡大志向の農家も少ないなか、経営継承を受けた若い担い手や新規就農者が現れた時は、その者に対して農地を集積していく。
(2)農地中間管理機構の活用方針
利用権設定されている農地の期間満了後に農地中間管理機構に付け替える。
(3)基盤整備事業への取組方針
地域内の農地のうち基盤整備可能な農地については、ほぼ基盤整備が完了している。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
当地域の後継者の殆どは農業をやらないことが想定されており、地域内の親方農家の下で研修し、独立をさせて担い手を増加させる取組みを行い、担い手の確保・育成を進めていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
土地利用型の担い手が増えてくれば、地域内の水稲作は全てそれら担い手に作業委託を行い、露地野菜の担い手は野菜作に集中する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①近年、頻繁にイノシシが出没するため、地域内において集落ぐるみでの獣害対策を実施する。
- ②⑨耕畜連携を地区内で推進し、畜産農家から生産される堆肥を活用して減肥料の取組みを進める。
- ③ラジコン草刈り機の導入など、可能なところからスマート農業を取り入れる。
- ⑦中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度を活用し、地域ぐるみで農地の保全・管理を実施する。